

在宅医療・ケア提供者の現場の安全確保について

一般社団法人日本在宅救急医学会代表理事

（日本体育大学大学院保健医療学研究科長、教授）

横田裕行

第6回日本在宅救急医学会総会・学術集会

(2022年9月10日～11日：水戸、会長：小豆畑丈夫)

第6回

日本在宅救急医学会総会・学術集会



信念はいらない。
まず、命を救え。

水戸市制 100 周年記念 水戸芸術館タワー
(1990 年制作、三重らせん塔、高さ 100m)
設計：磯崎新

<http://zaitakukyu>

会期 2022年9月10日(土)・11日(日)

会長 小豆畑丈夫 医療法人社団青燈会小豆畑病院

副会長 吉田雅博 国際医療福祉大学 市川病院消化器外科 教授 事務局 照沼秀也 医療法人社団いばらき会

会場 常陽藝文センター(茨城) 〒310-0011 茨城県水戸市三の丸 1-5-18 常陽
水戸京成ホテル(茨城) 〒310-0011 茨城県水戸市三の丸 1丁目 4-7

事務局 〒311-0105 茨城県那珂市菅谷605 TEL:029-295-2611 FAX:029-295-5022 mail:zaitakukyu@nako.ac.jp



緊急報告 2022年9月11日(日) 13:20～13:40

座長	照沼秀也 (医療法人社団いばらき会)
	小豆畑丈夫 (医療法人社団青燈会小豆畑病院)

発表者	タイトル
島田 潔 (医療法人社団平成医会板橋区役所前診療所)	在宅医療の安全確保に関する調査報告書

活動報告

緊急報告：在宅医療の安全確保に関する調査報告書

島田 潔

調査の背景・目的

2022 年 1 月に埼玉県ふじみ野市において訪問医が患者遺族に殺害される事件が発生した。

本事件を機に在宅医療の安全性を確保するための検討が必要と考え、実態調査を行った。

調査対象

在宅医療に従事する医師：

一般社団法人全国在宅療養支援医協会（以下、在支協）、在宅医療政治連盟（以下、政治連盟）の会員のうち、メール連絡を許諾している会員を対象（在支協：751 人・政治連盟：195 人）

治連盟それぞれに倫理的配慮に関する内部検討を行い、問題がない旨の判断に基づいてアンケートを実施した。

調査結果の要旨

Q1：理不尽な要求やクレーム

訪問医の 57%が「毎年または数年に 1 回以上」経験していた（図 1）。

「医療処置や処方・入院先について」「病気や老化の受容について」に関するものは 43%、「訪問診療／往診について」「医療費／書類発行について」の内容が 36%を占めた（図 2）。

背景として、患者家族の知的障害、精神疾患、認知

在宅医療・ケア提供者の安全を確保するための 合同ワーキンググループ 設立の趣意書

国レベルの支援体制構築の必要性

【 在宅医療の特性とそれに伴う課題 】

1. 在宅医療・ケア提供者は、利用者の生活と療養の全体を支えることを使命としている
課題：在宅医療の現場では、より良い療養方針選択のために、在宅医療・ケア提供者は利用者の生活や死生観、経済事情など、私的な情報をも共有する特徴があります。対等で深い対話が可能になる一方で、それぞれに利己的な要望を抱く可能性があります。
2. 在宅医療・ケアの場合は、利用者宅などの私的な空間であり、時に密室となる
課題：第3者の介入が乏しく、私的な空間である利用者宅などでは、有事の際に、救援の要請、退路の確保、証拠の保全が困難となる場合が通常です。
3. 在宅医療・ケア提供者は、その利用者の看取りまで、責任をもって関わり続ける
課題：在宅医療・ケア提供者は、疾病等により社会参画が難しくなった利用者が、社会から孤立せず暮らしていけるように支援するための最後の砦としての役割を担います。在宅医療・ケア提供者は、利用者との間にトラブルが発生しても、容易に支援を止めず対話による歩み寄りを続ける傾向があります。その結果として、不本意にも問題が深刻化する恐れがあります。

【 在宅医療・ケア提供者の安全を確保するための4つの目標 】

1. 在宅医療・ケア提供者の安全が脅かされることの無い仕組みを作る
例) 在宅医療・ケアの現場の実情に即した安全管理マニュアルの作成、社会への啓発活動など
2. 在宅医療・ケア提供者と利用者間で関係悪化が生じた際に相談できる仕組みを作る
例) 中立的立場にある公的機関が双方の意見を聞き積極的に解決に導く制度の構築、弁護士会が主催する法律相談ができる窓口の新設など
3. 在宅医療・ケア提供者の安全が脅かされる事件が発生した際に救助する仕組みを作る
例) 警備会社の緊急通報システムの改善・普及、被害を受けた時の保険会社による保険商品の開発、警察や弁護士への介入依頼方法の整備など
4. 在宅医療・ケア提供者の安全に関する問題の情報を集めて調査、分析する
例) 問題を一般化し、予防策や解決方法を検討し、その結果を共有する仕組みを作るなど

2023年5月29日

全国在宅療養支援医協会 会長 新田國夫
日本在宅救急医学会 代表理事 横田裕行